

教科名	科目名	学科・学年・類型	単位数
国語	現代文総合	普通科・3学年(文系)	2単位
教科書	[主たる教材] 現代文A青春文学名作選 - 歴史の中の青春 (教育出版) 読む力考える力を高める新現代文学名作選 (明治書院)		
副教材等	[副教材] 熟語を音訓から学ぶ品詞別頻出漢字マスター3000 (尚文出版) 新国語便覧 (第一学習社)		

1 学習目標

近・現代の評論文や小説を読解することで、論理的に考える力と、他者にわかりやすい言葉を選んで表現できる能力を養成する。教材に含まれるさまざまな人間像や思想、社会的歴史的な流れを学ぶことによって、豊かな感性と自分の人生を考察する姿勢を身につける。

2 指導の重点

- ①知識、技能の習得に向けて
受験の演習に向けた知識、技能の定着。及び生徒の進路目標に応じた専門知識の基礎の涵養。
- ②思考力、判断力、表現力の育成に向けて
グループ学習やプレゼンテーションを通じて、知識、技能を活用した思考力、判断力、表現力を育成する。
- ③学びに向かう力の涵養に向けて
様々な協同活動などを通じて、社会適応力、自己分析力、主体的実行力などを育成する。

3 学習計画

月	単元名	教材	学習内容 (指導内容)	時間	評価方法
4月	随想	言葉を友人に持とう	比喩用言、レトリックを読み取り、筆者の考えを理解する。	4	授業の取組 定期テスト
5月	小説	他人の夏	登場人物の言動、状況を読み取り、人物の考えを理解する。	6	
	小説	セメント樽の中の手紙	フロレタリノ階級の人ひとの状況、王張を読み取る。	5	
6月	詩	喪失ではなく	詩の表現、筆者の感性を味わう。	2	
7月	小説	空缶	登場人物の背景を捉え、心情を理解する。	8	定期テスト
	随想	人生	筆者の感性、表現を学ぶ	2	
9月	小説	鼻	登場人物の心情の変化、周囲の人びとの反応を捉え、人の意識について考察する。	10	定期テスト
10月	小説	悟浄歎異	悟浄の人物評を読み、背景にある作者の人生観を考察する。	10	
	評論	私の個人主義	筆者の主張を読み取る。	7	定期テスト
11月		問題演習	・受験に向けた演習を行い、知識を活用し、マーク・記述に対応できる力を養う。	10	

計 64 時間 (55分授業)

4 課題・提出物等

- ・漢字の小テスト週1回実施。
- ・必要に応じ、問題演習などの学習、提出を指示します。

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。				
(関心・意欲・態度)	(思考・判断・表現) (技能)			(知識・理解)
関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
文章を読む楽しさを味わい、読書に親しむとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
以上の観点を踏まえ、定期考査、課題テスト、授業内の小テスト、課題提出、授業への取り組みを総合して評価する。				

6 担当者からの一言

<ul style="list-style-type: none"> ・相手の言葉を注意深く聞く、あるいは読むことで、意図を酌み取り理解する力を身につけること。他人と自分の意見、表現を比較して自己の考えを深化させること。他人に納得してもらえ、表現力を身につけるために、他人の意見、文章を参考にすること。これらの力を養成することが大切です。 ・①曖昧な理解をしていた語句の意味を確認する。②書き手の意図をとらえる。③文章についての疑問点を挙げておく。①～③の予習をして授業に臨むことが大切であり、密度の濃い授業が個々の学力を高める基礎となります。 ・毎週1回のペースで漢字教材からの小テストを実施します。 ・授業で扱うものに限らず、さまざまなジャンルの文章を数多く読むようにしてください。(担当：友野忠昭)
--